健保・年金だより

○保険証を大切に、退職時には必ず返しましょう
○保険給付支給通知書は大切に保管しましょう
医療費控除を受ける時必要になります。

平成29年度収入支出決算 3年連続の赤字に

平成29年度の決算がまとまりましたので、お知らせいたします。

平成29年度の決算は、収入については別途積立金を繰り入れて保険料不足分を補っており、この積立金繰入等を除くと収支は3年連続で赤字となります。

高齢者医療支援金等負担金助成事業等による補助金として1億7、497万円の収入がありましたので、実質の赤字は1億2、853万円となります。

今後もさらなる医療費の増加や支援金の負担増が予想されます。当健康保険組合は、無駄を省き効率的な運営を継続していく所存ですが、皆様におかれましても生活習慣病健診、定期健診、特定健診などを積極的に受診していただき、医療費の節減にご協力下さいますようお願い致します。

◆収入（健康保険分）

・保険料収入

保険料率を1000分の90から1000分の95に引き上げた事と、平均標準報酬月額が前年度を上回り増収になりましたが、標準賞与額が前年度より下回った事から、トータルでは前年より1億1、710万円増加の24億21万円となりました。

・国庫負担金収入

事務費に対する国からの補助金で、66万円となりました。

・調整保険料収入

保険料収入は3、333万円となりました。高額医療給付、財政窮迫組合に対する交付事業を行うため、健保連に支払う金額です。

・国庫補助金収入

特定健診・特定保健指導等に対する国からの補助金及び高齢者医療支援金等負担金助成事業による補助金で、1億7、497万円となりました。

・財政調整事業交付金

高額な医療費に対し、負担軽減のための支援金で、2、575万円の交付を受けました。

・雑収入

積立金の利子、保養所の利用収入等などで、804万円となりました。

・別途積立金より（取崩）

支出に対する不足を補うため、実質的な別途積立金の取り崩しは、1億2、853万円となりました。

◆支出（健康保険分）

・事務費

組合の事務の運営に係る諸経費で、6、694万円となりました。

・保険給付費

社員の皆様とご家族にかかった医療費のうち、健保組合から支払った費用です。法定給付費は12億3、756万円となりました。組合独自の付加給付費は2、431万円です。保険給付費全体では、保険料収入に対する割合は、49・26%を占めています。

・納付金

前期高齢者納付金は、65歳～74歳までの方を対象とした前期高齢者の医療費の財政支援です。納付金は、当組合で支出した2年前の前期高齢者の医療費をもとに算出した概算額と、2年前に算出した概算額と実際の医療費により計算された確定額との精算があります。支出は2年前の医療費の精算額及び概算額の合計で前年度より1億2、333万円増の7億2、001万円です。

後期高齢者支援金は、75歳以上の方が加入する後期高齢者制度への支援金で、1割の高齢者の保険料、被用者保険・国民健康保険から4割、公費から5割で賄われています。前年度より1、493万円増の5億2、576万円です。

その他退職者給付拠出金等で3、076万円拠出しており、全体では12億7、652万円を納付しています。

納付金は、全体として前年度より1億3、616万円増加しています。保険料収入に対する割合は、49・83%を占めています。ただし、前期高齢者の医療費が増加しており、今後の納付金の増加は避けられないところです。

・保健事業費

皆様の健康づくりに支払った費用で、生活習慣病健診などの健診事業、人間ドック・脳ドックの補助、育児図書の配布、保養所等の運営を行っています。支出は、1億2、244万円です。

・営繕費

保養所の修繕などで、888万円の支出となりました。

・財政調整事業拠出金

高額医療給付、財政窮迫組合に対する交付事業として、各健保組合より健保連に拠出しており、今年度は3、329万円拠出しました。

◆収入・支出（介護保険分）

介護保険は、2、262万円の赤字でした。平均標準報酬月額及び被保険者数が増加し、標準賞与額が減少した結果、保険料収入は前年度より340万円増加の1億9、697万円と、国庫補助金受入等241万円がありましたが、支出（介護納付金）が、2億2、204万円があり、支出を補うため介護準備金の取り崩しは、前年度より1、180万円増加し、2、262万円という結果となりました。

平成29年度収入支出決算概要

◆適用状況

区分	本年度平均	増減(前年度比)	率(前年度比)
被保険者数	4,810人	-36人	99.3%
平均標準報酬月額	337,438円	4,845円	101.5%
被扶養者数	4,731人	-38人	99.2%
前期高齢者数	218人	49人	129.0%
介護保険被保険者数	2,289人	29人	101.3%

◆収入（健康保険分）

科目	本年度決算額(千円)	増減(千円 前年度比)	率(前年度比)
保険料収入	2,400,213	117,107	105.1%
国庫負担金収入	660	-13	98.1%
調整保険料収入	33,336	-191	99.4%
国庫補助金収入	174,974	140,361	505.5%
財政調整事業交付金	25,754	-13,272	66.0%
雑収入	8,049	826	111.4%
別途積立金より(取崩)	128,535	35,070	137.5%
合計	2,771,521	279,888	111.2%

◆支出（健康保険分）

科目	本年度決算額(千円)	増減(千円 前年度比)	率(前年度比)
事務費	66,943	9,173	115.9%
保険給付費	1,261,863	111,773	109.7%
納付金	1,276,526	136,166	111.9%
保健事業費	122,448	14,963	113.9%
還付金	150	-147	50.5%
営繕費	8,888	8,146	1197.8%
財政調整事業拠出金	33,296	-191	99.4%
連合会費	1,381	4	100.3%
雑支出	26	1	104.0%
合計	2,771,521	279,888	111.2%

◆収入（介護保険分）

科目	本年度決算額(千円)	増減(千円 前年度比)	率(前年度比)
介護保険料収入	196,972	3,406	101.8%
国庫補助金受入	2,415	2,415	－
雑収入	42	-51	45.2%
介護準備金より(取崩)	22,628	11,807	209.1%
合計	222,057	17,577	108.6%

◆支出（介護保険分）

科目	本年度決算額(千円)	増減(千円 前年度比)	率(前年度比)
介護納付金	222,040	17,560	108.6%
介護還付金	17	17	－
積立金	0	0	－
合計	222,057	17,577	108.6%

勝又企業年金基金の平成29年度の決算についてお知らせいたします

平成29年度の資産運用環境は、朝鮮半島情勢の緊迫化、円高基調により日経平均株価は18、000～20、000円程度で推移しましたが、10月の衆院選で自民党が圧勝すると上昇基調となり、一時24、000円を超えるなど堅調に推移しました。しかし年度末にかけて米長期金利の上昇や米中貿易摩擦懸念が重石となり調整色が強まりました。

年度末の日経平均株価は21、454円30銭、NYダウは24、103・11ドルという結果となりました。

当基金の資産運用利回りは、時価ベース利回りで5・02%となり、時価総額は9、915百万円となりました。結果として、268百万円の当年度剰余金を計上することになりました。

当基金では、今後とも長期的な視点に立って年金資産の収益向上に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願い致します。

1.収入の部　（単位：千円）

科目	決算額	内容
掛金等収入	744,904	加入員・事業主からの掛金
運用収益	528,627	資産を運用して得た収益金
特別収入	202	過年度分の年金戻入分
計	1,273,733	

2.支出の部　（単位：千円）

科目	決算額	内容
年金給付費	517,824	当年度に支払った年金・一時金の額
移換金	3,946	20年未満の退職者の一時金相当額を他の年金制度へ支払った額
信託報酬等	70,744	信託銀行等に手数料として支払う額
運用損失	2,529	資産を運用した結果の損失
責任準備金増加額	410,514	将来の年金に必要な積立金の前年度からの増加額
当年度剰余金	268,176	収支バランスの額
計	1,273,733	

健保組合からのお知らせ

■年末年始（12/28～1/3）の保養所の予約は“9月1日(土) 9時30分”からです。受付 043-227-2125

■勝又健康保険組合のホームページを開設しました　http://katsumata-kenpo.or.jp/

ホームページ用
QRコード